

今月のテーマ 『ロータリー財団月間』

第1452回例会

2016年11月10日 Vol.31/No.16

■本日の例会 / 第1453回 平成28年11月17日(木)

- 会長・幹事報告
- 各委員会報告……………各委員長
- ロータリー財団月間について……………瀧浅敏幸 委員長
- 会員卓話……………江口健一 会員、神川統一郎 会員

【出席率状況報告】

- ・会員数……………54名
- ・出席者……………40名
- ・欠席者……………14名
- ・出席率……………74.07%
- ・10/20の修正出席率……………77.78%

■会長挨拶



会長 香川美穂子

こんにちは！立冬も過ぎ朝夕の冷え込みがきつくなってまいりました。皆さんもお読みと思いますが、宮日11月5日に「パリ協定発効」と出ておりました。温暖化問題の対処として掲げた気候変動枠組条約と言うのは1992年に出来たそうで、それからパリ条約が出来るまでに20年以上かかったとのこと。ドイツのポツダム機構影響研究所のシェルフナー所長は「もし30年前に真剣に取り組んでいれば気温上昇はもっと小幅に出来たはず」と指摘しています。過去30年で世界の気温は1度近く上昇し、海面は約20センチ高くなって海岸を侵食しつつあるとの事。そのために水没の危機に瀕している国もありますね。日本の電力業界は再稼働が進まない原子力発電所に代えてコストが安い石炭火力に傾き、温暖化対策の絵が描けない状況との事です。先ほどのシェルフナー所長は「パリ協定がうまくいけば文明の存続は出来るが、それも運が良ければの話かもしれない」と警告を発しているそうです。この警告ものすごい事ではありませんか？暗に人類の滅亡を示唆しているように私には思えます。「人類にサービスするロータリー」なんて悠長な事を言っている場合では無いと思えます。

温暖化については本当に以前からマスコミに取り上げられていました。ただ取り上げただけで「ではどうするか？将来に備えての対策は今我々はどうすべきか？」という実際の行動への提案や啓蒙喚起という風には情報をまとめ上げては行かなかったように思われます。「言うは易く行うは難し」です。石炭や石油の化石燃料をエネルギーにする為に燃やすと温暖化に結びつく事は多くの人々が知っていたはずですが、でもそれを止めようとせ

ず目先の自分の便利さに流されました。今気候変動が起きとんでも無い気象状況となっても火力発電に頼ろうとしています。そしてエコと言う伝家の宝刀を振りかざして風力や地熱や波による発電をしたり顔で言いますが、そのコストがどれだけかかり電気代として国民にのし掛かってくるかの計算は出来ているのでしょうか？誰でも潤沢なエネルギーの供給を欲し、それが安いに越したことはありません。それは日本人だけでなく世界中の人々がそのような生活を望んでいるのです。

我々日本人は第二次世界大戦からの復興と共に彼に乗ってレベルの高い生活水準を手に入れたと思います。以前にも申しましたが後を追ってきている国々の国民も同じように良い暮らしを求めています。そのような時に我々だけが早い者勝ちと言わんばかりに権利のみ追い求めて後始末をしないと言うのは無責任なのではないでしょうか？勿論研究者たちにはさらなる研究で地球を汚さないエネルギーの開発をしていただきたいと思いますが、現時点で何が一番安定したエネルギーを我々に提供してくれるのか、一番コスト的にも安価なエネルギーなのかを判断すべきだと思います。私の主人は東芝で原子炉の安全性の研究に携わっておりました。東北の地震で原子力発電所が津波によって使えなくなりました。あの事件はそれこそ想定外の津波がきたことで起きたことであり、東京電力や原子炉を作ったメーカーの落ち度ではないと思います。建設した時の国の基準はきちんと守られていたのですから。基準が守られていなかったら国が建設を許可しませんよね。だからその基準を作る為の情報を提供する地震や津波を研究している専門家達の方にむしろ責任があると思います。確かあの時も地震の研究者が「過去の調査から大地震の発生の可能性がある事をこれから発表するつもりだった」との発言がありまし

た。学者と言われる人達は国から多大な資金を得て研究活動をしています。我々の税金で研究をしているのです。だったらなおのことその研究結果つまり情報を早く国民に知らせて国民の生活を守るべきです。民間の会社は自分で稼いで研究費も捻出しています。そのためメーカー社員の給料はとて安かったです。我々とはかく目先の楽な方に傾き、口ではしのごの御託を並べますが実際先頭に立って動くとはしません。動くのは「よだき〜」ですものね。しかもそれがすぐ自分に影響を及ぼす事ではなければなおのこと動きが鈍るのでは？でもそれでは物事は解決しないのです。「行動」とは「動く行」だと私は思っています。しんどいです。でもそれをやり遂げた時、達成感と満足感を得られます。特に自分のためではなく周りの人々のために動けた時は大きな喜びです。ロータリアンは仕事が第一ですからなかなか時間を割くことは難しいでしょうが、自分だけではなく周りの人々にとって何が必要か、何をすべきかを考え、考えただけでなくそれを行動に移すところまで持っていくことこそ今年のテーマである「人類にサービスするロータリー」の実践となると思います。

■幹事報告

幹事 江藤敏治



こんにちは。皆さん。近頃急に肌寒くなってきました。インフルエンザも全国的に増えてきています。インフルエンザワクチンの接種を是非お勧めします。幹事報告としては、地区補助金申請受付が来年1月1日から3月31日まであります。是非色々なアイデアをお願いいたします。その他、日南中央ロータリークラブ(40周年、1月28日)、鹿児島東ロータリークラブ(30周年、2月4日)、加治木ロータリークラブ(50周年、4月8日)様から創立記念式典のご案内が届いております。どうぞよろしくお願いたします。

■人会候補者ご紹介のお願い

職業分類・会員増強委員会
委員長 高野広美



早いもので、香川年度になって5ヶ月を迎えました。今日現在7名の方を紹介いただいておりますが、残念なこと

に新会員の入会がまだ0名であります。

そこで、再度皆様に新会員候補者のご紹介をお願いするものです。本日は活動計画書の中から充填・未充填職業分類表をコピーして皆様のBOXに入れておきますので、それを参照してみてください。例えば、医師の分類で言えば当クラブでは外科医、泌尿器科医、耳鼻咽喉科医の先生がまだ充足しておりません。ここが充足すれば殆どの病気が当クラブの先生で対応可能で、より安心できるのではないのでしょうか。是非、心当たりの先生をご紹介ください。

また、分類N022のレジャー部門にはスポーツ用品、ゴルフ場が分類されています。当クラブにはゴルフ同好会もありますし、皆様の中にはゴルフ場のメンバーの方もおられると思います。できれば、支配人等ご紹介ください。

皆様方からご紹介いただければ、私の方で改めてロータリーの紹介等にお伺いさせていただきます。ご協力のほど宜しくお願いいたします。

会員卓話

生駒俊明 会員



こんにちは。中央ロータリーに入りましてちょうど一年になります。私は来年、還暦を迎える歳になりました。今までに色んなことにチャレンジして来ましたが、今日は私の人生を振り返って学生時代に21日間北海道を一人で旅をしたことを話します。

当時(二十歳)私は貧乏学生で、学費以外のお金はもっぱら肉体労働で稼ぎました。旅費(10万円)を稼ぐために2週間ほど働き、足りない2万円(神戸から北海道までの周遊券分)を無謀にも、3日間パチンコ店にオープンから閉店まで粘って稼ぎました。そして北海道の旅もヒッチハイクや摩周湖で遊んだり、北海道大学の畑の中で野宿したりと随分破天荒なことをやりました。

どんな困難も諦めず最後までやり通すと、必ず良い結果に繋がることを今までの人生の局面で経験して来ました。

口からプラスのことを言う「叶う」と言う文字になります。逆に口から途中でマイナスのことを言う「吐く」という文字になります。弱音を吐かず最後まで諦めない人生をこれからも貫いて行きたいです。

発行/宮崎中央ロータリークラブ

●事務局 〒880-0804 宮崎市宮田町10-25 宮田町ビル TEL.0985-22-6767 FAX.0985-22-0288
●例会場 〒880-8545 宮崎市山崎町浜山 シーガイアコンベンションセンター TEL.0985-21-1155(毎週木曜 12:30~13:30)
会長/香川美穂子 副会長/三輪修珍・田中 寿 幹事/江藤敏治